

(OMS ホスト)

## 『自己更新』の設定

参照資料

[https://docs.oracle.com/cd/E74608\\_01/131/EMADM/self\\_update.htm](https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMADM/self_update.htm)

『自己更新』機能のアーキテクチャについて

別紙を参照のこと

『自己更新』の設定概要

[https://docs.oracle.com/cd/E74608\\_01/131/EMADM/self\\_update.htm](https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMADM/self_update.htm)

- 21.2 自己更新の設定
  - 21.2.1 Enterprise Manager 自己更新モードの設定
  - 21.2.2 ユーザーへの自己更新権限の割当て
  - 21.2.3 ソフトウェア・ライブラリの設定
  - 21.2.4 My Oracle Support 優先資格証明の設定
  - 21.2.5 My Oracle Support 用のプロキシ詳細の登録
  - 21.2.6 EM CLI ユーティリティの設定(オプション)

## 『自己更新』の設定詳細

### 21.2.1 Enterprise Manager 自己更新モードの設定

1. スーパー管理者権限のある管理者として **Enterprise Manager** にログインする
2. メニュー・「設定」 → 「拡張性」 → 「自己更新」  
自己更新コンソールがデフォルト設定で表示される
3. 「一般」ステータス領域から、「接続モード」ステータスをクリックする  
パッチ適用設定ページに移動したら、「オフライン・モード」 or 「オンライン・モード」を選択し、「適用」をクリックする
4. 必要な接続モードを設定したら、自己更新コンソールに戻ります

### 21.2.2 ユーザーへの自己更新権限の割当て

- ・デフォルトでは、スーパー管理者には **EM\_INFRASTRUCTURE\_ADMIN** 権限が付与される

通常の **Enterprise Manager** 管理者に、『自己更新』の権限を割り当てる手順

1. メニュー・「設定」 → 「セキュリティ」 → 「管理者」
2. 権限を割り当てるユーザーを選択し、「編集」をクリックする
3. ロール・ページから、適切な自己更新ロール  
『**EM\_INFRASTRUCTURE\_ADMIN** 権限』を割り当てる

### 21.2.3 ソフトウェア・ライブラリの設定

ソフトウェア・ライブラリは、ダウンロードしたソフトウェア・プログラムを格納するディレクトリです

ソフトウェア・ライブラリが設定されていない場合は、第8章「ソフトウェア・ライブラリの構成」の手順を参照に設定する

## 21.2.4 My Oracle Support 優先資格証明の設定

EMCC で使用するソフトウェアのダウンロード先である Oracle 社の Web サイトへ接続する時のユーザー名とパスワードの設定を行う

1. メニュー・「設定」 → 「My Oracle Support」 → 「資格証明の設定」
2. ユーザー名とパスワードを指定する
3. 「適用」をクリックする

## 21.2.5 My Oracle Support 用のプロキシ詳細の登録

Oracle 社の Web サイトへ接続する時のネットワーク環境について設定を行う  
プロキシ・サーバーを経由してインターネットへ接続している場合は、  
プロキシに関しての接続環境の設定が必要となる  
そのための設定は、以下のとおりである

1. メニュー・「設定」 → 「プロキシ設定」 → 「My Oracle Support」

### 【プロキシを使用しない場合】

2. 以下の設定を行う
  - 2-1 「プロキシなし」を選択する
  - 2-2 「テスト」をクリックして、Oracle 社の Web サイトへ接続できるか確認する
  - 2-3 接続が成功した場合、「適用」をクリックして設定を保存する

### 【プロキシを使用する場合】

2. 以下の設定を行う
  - 2-1 「手動プロキシ構成」を選択する
  - 2-2 「https」にプロキシ・サーバーのホスト名を、「ポート」にポート番号を入力する
  - 2-3 指定したプロキシ・サーバーがセキュリティ・レルム または、ログイン資格証明(あるいはその両方)を使用して構成されている場合には、「パスワード/拡張設定」を選択して、「レルム」、「ユーザー名」、「パスワード」に値を入力する
  - 2-4 「テスト」をクリックして、Oracle 社の Web サイトへ接続できるか確認する
  - 2-5 接続が成功した場合、「適用」をクリックして設定を保存する

## 【参考情報】

### 21.2.6 EM CLI ユーティリティの設定(オプション)

EMCC ホストが、インターネットに直接接続していない環境の場合には、オフライン・モードで自己更新機能を使用して、ソフトウェアの更新を行う必要がある

- GUI を使用した手順については、P.16 を参照のこと
  - EM CLI コマンドを使用してのソフトウェアの更新手順は、以下のとおりである
1. EM CLI コマンドで更新を行うための設定手順を示すページを表示させる  
[https://<emcc\\_host>:<emcc\\_port>/em/console/emcli/download](https://<emcc_host>:<emcc_port>/em/console/emcli/download)
  2. 表示された設定手順を実行する